
膜誌論文賞のお知らせ

日本膜学会は2014年より膜誌論文賞を創設いたしました。膜誌に掲載された論文の中から、審査委員会において厳正な審査を行い、発行年ごとに選定します。対象となる論文は原著論文です。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

なお、2018年発行膜誌論文賞の受賞は、下記の通りです。

日本膜学会会長 松山秀人

<人工膜>

論文題目

“電子線グラフト重合法によるポリエチレン基材製塩用イオン交換膜の製造（その3）1価イオン選択透過性能をもつ陰イオン交換膜”

掲載誌

MEMBRANE, 43(5), 231-237 (2018)

著者

永谷 剛¹⁾・佐々木貴明¹⁾・斎藤恭一²⁾*

1) (公財) 塩事業センター海水総合研究所

2) 千葉大学大学院工学研究院

膜誌論文賞審査委員会

委員長 松山秀人

審査委員 人工膜：川上浩良・高羽洋充・田中孝明・谷口育雄・中村一穂・比嘉 充



5月10日、日本膜学会総会にて2018年発行 膜誌論文賞表彰式が行われました。

2018年発行膜誌論文賞受賞式